

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000043
事業所名	グループホーム 上豊田

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、会費を納めている。区长より「にしやま自治区便り」が2か月毎に届き、地域情報を収集している。日常の散歩時に地域住民と挨拶を交わし、地域の一員として周知されている。ホーム周辺のごみ拾い等の清掃活動を率先して行ったり、介護の相談を受け付け、必要に応じたアドバイスや見学等の対応をして専門知識を活かし地域に根差した活動に努めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回、定期的に開催している。社内開催時は構成メンバーである包括職員、家族には書面を郵送やFAXをして周知している。今年度1回は顔合わせでの開催が実現され、ホームの活動を写真を掲示して詳細に伝え運営の実情を周知し協力体制を深めた。会議の内容は職員研修や会議の際に周知し、改善に向け話し合いサービス反映に繋げている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市介護保険課とは、更新手続きや書類提出等で直接出向く機会があるが、何かあれば電話で相談して協働関係を築いている。保健所や市介護予防課とは、感染対策等で些細な事でも連絡を取り合い、適切なアドバイスや必要に応じて物資が届く等の困難な場面での協力体制が築かれた。市町村主催の研修には積極的に参加し、参加職員は研修報告を実施し、職員全体の育成やサービス向上に繋げている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置がある。毎月「上豊田たより」を発行し、日常の様子や活動内容を詳細に伝えると共に一筆手紙を添える等して、家族への安心や信頼に繋げている。また何かあれば電話や面会時に話をする機会を作り、要望や意見を引き出すように努めている。利用者の意見や要望は日常の様子から引き出し、毎日の申し送りや会議等で職員間で周知し、サービス反映に繋げている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								